

歯科技工科シラバス

分野	基礎（必須）	教科目	外国語
授業形式	講義	単位(時間)	1単位(16時間)
開講時期	1年後期	担当	中尾俊一郎 実務経験 無
<p>高校教諭として英語を担当した経験を活かした授業</p>			
<p>概要</p> <p>一般的英会話と歯科専門用語について学ぶ</p> <p>到達目標</p> <p>1) 歯科医療に従事する者として必要な外国語（歯科英語）を理解する</p> <p>2) 満ちあふれる情報から、確かな情報をつかみとる</p> <p>授業内容 各項目2時間</p> <p>(1-2) 一般的な会話：あいさつ</p> <p>(3-4) 国際交流：事前のやりとり</p> <p>(5-6) 海外の展示会に参加する：入国手続き</p> <p>(7-8) 海外で働く：訪問先へのアポイント</p> <p>(9-10) 歯科医院での会話：歯が痛い・入れ歯を入れたい</p> <p>(11-12) 歯の名前・歯の構造・歯式</p> <p>(13-14) 歯科技工指示書</p> <p>(15-16) 知っていると便利な単語集</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 歯科英語</p> <p>配布プリント</p>			
<p>評価法 定期試験・レポート及び出席による総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	基礎（必須）	教科目	造形美術概論
授業形式	講義・演習	単位(時間)	1単位（16時間）
開講時期	1年前期	担当	大蔵開平 実務経験 無
<p>本学短期大学のライフデザイン学科の教諭であり、美術専門知識を活かした授業</p>			
<p>概要 歯科技工士として必要な美的感覚の素地を養い、造形や色彩等や歯のデッサンについて教授する</p> <p>到達目標 美的感覚、観察力・知識を歯科技工実習に役立てる</p> <p>授業内容 各項目2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> (1-2) 美について：歯科審美・歯らしい歯とは (3-4) 歯の観察に至るまで：見ることのメカニズム (5-6) 歯の形態表現：歯形彫刻用見本を描く (7-8) 前歯のスケッチ：観察と着彩表現 (9-10) 顔の観察：解剖学的スケッチ・自画像スケッチ (11-12) 歯科技工と色彩：色彩の基本・色の見え方 (13-14) 歯科臨床における色彩：色の三属性・天然歯の色 (15-16) コンピューターグラフィックス 			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 歯科技工造形学</p>			
<p>評価法 定期試験・提出物による総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門基礎（必須）	教科目	歯科技工学概論
授業形式	講義	単位(時間)	2単位（32時間）
開講時期	1年前期	担当	専任教員 実務経験 有
本校の歯科技工科専任教員であり、歯科技工学に必要な項目の授業			
<p>概要</p> <p>歯科医療と歯科技工の概念および倫理・歯科技工に関する口腔の構造と機能の概要や業務実施の運営・管理・作業環境・健康管理について学ぶ</p> <p>到達目標</p> <p>1) 歯科技工の概念及び口腔の機能・疾患等の概要を理解する</p> <p>2) 歯科技工業務を遂行する上で必要な、運営管理、作業環境、感染予防等について理解する</p> <p>授業内容 各項目2時間</p> <p>(1-2) 医療と歯科医療：インフォームドコンセント・QOLとADLなど</p> <p>(3-4) 歯科医療機関の役割：歯科医院・総合病院・大学病院の役割</p> <p>(5-6) 歯科医療関係職種：歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士の業務</p> <p>(7-8) 歯科技工学：歯科技工士教育制度・国家試験および資格</p> <p>(9-10) 顔の形態と機能：バランスのとれた顔の法則</p> <p>(11-12) 歯・歯列の形態と構造：歯周組織の構造・口腔の機能</p> <p>(13-14) 硬組織疾患の種類と特徴：歯・歯列の異常や齲蝕など</p> <p>(15-16) 歯科疾患の現状：現在歯数・歯周病の状態</p> <p>(17-18) 硬組織疾患と歯科技工：歯冠部を補綴する修復物の種類</p> <p>(19-20) 歯の欠損と歯科技工：歯の欠損に適応する補綴装置の種類</p> <p>(21-22) 歯周疾患・歯列不正と歯科技工：歯の動揺や歯列矯正、保定装置の種類</p> <p>(23-24) 顎関節症と歯科技工：症状の軽減や改善を目的とする装置の種類</p> <p>(25-26) 歯科技工を行うのに適切な作業環境：配置と面積・採光と照明・換気など</p> <p>(27-28) 歯科補綴装置の品質管理と品質保証：生産者が製品の水準を確保する</p> <p>(29-30) 歯科補綴装置のトレーサビリティ：追跡可能性・生産者情報</p> <p>(31-32) 歯科技工作業における感染防止：ウイルス性肝炎・後天性免疫不全症候群</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 歯科技工管理学</p>			
<p>評価法 定期試験・レポートによる総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門基礎（必須）	教科目	関係法規
授業形式	講義	単位(時間)	1単位（16時間）
開講時期	1年前期	担当	専任教員 実務経験 有
本校歯科技工科専任教員、歯科技工士として必要な法的知識の授業			
<p>概要</p> <p>衛生行政を含め主として歯科技工を行ううえで重要な歯科技工士法について定義や法律の内容について学ぶ</p> <p>到達目標</p> <p>歯科技工士免許・名簿に関することや歯科技工の業務に関する申請や違反行為罰則などを理解する</p> <p>授業内容 各項目2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> (1-2) 衛生行政：法律・政令・省令や歯科技工士と関わりの深い法律 (3-4) 歯科技工士法：法律の目的や用語の定義 (5-6) 歯科技工士法：免許・名簿に関する交付および届け出 (7-8) 歯科技工士法：指定登録機関・政令および厚生労働省への委任 (9-10) 歯科技工士法：国家試験・歯科技工指示書 (11-12) 歯科技工士法：歯科技工所・広告の制限 (13-14) 医療法・歯科医師法・歯科衛生士法：各法律の概要 (15-16) まとめ・小テスト 			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 歯科技工管理学</p>			
<p>評価法 定期試験・レポートによる総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門基礎（必須）	教科目	歯の解剖学 I
授業形式	講義	単位(時間)	1 単位 (16時間)
開講時期	1 年前期	担当	久保 周次郎 実務経験 有
本校臨床実習先の歯科医院院長であり、歯の概要から専門的知識を活かした授業			
<p>概要</p> <p>永久歯や乳歯の解剖学的形態や歯の発生・歯周組織について学ぶ</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯の種類と名称を理解する 2) 各歯牙の形態や特徴を理解する 3) 歯の発生・歯周組織の基本的構造を理解する <p>授業内容 各項目2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> (1-2) 歯の概説：歯の種類と分類・歯の記号と歯式 (3-4) 永久歯の形態：前歯・臼歯の各歯形態の特徴 (5-6) 乳歯の形態：各歯の特徴・永久歯との違い (7-8) 歯の発生：歯冠の発生・歯根の形成・歯の萌出 (9-10) 歯の組織：エナメル質・象牙質・セメント質・歯髄 (11-12) 歯周組織：歯根膜・歯槽骨・歯肉 (13-14) 歯の異常：歯数・大きさ・萌出の異常 (15-16) 歯列・咬合：隣在歯との関係・咬合関係 			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学</p>			
<p>評価法 定期試験・レポート及び出席による総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門基礎（必須）	教科目	歯の解剖学Ⅱ
授業形式	講義	単位(時間)	1単位（16時間）
開講時期	1年後期	担当	藤井茂仁 実務経験 有
本校臨床実習先の歯科医院院長であり、口腔に関する専門的知識を活かした授業			
<p>概要</p> <p>頭蓋骨・口腔周囲の筋や顎関節など口腔解剖について学ぶ</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 頭蓋骨の構造を理解する 2) 顎口腔系の神経支配を理解する 3) 顎関節の構造と機能を理解する <p>授業内容 各項目2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> (1-2) 頭蓋の骨：後頭骨・頭頂骨・側頭骨など (3-4) 顔面頭蓋骨：上顎骨・下顎骨・口蓋骨など (5-6) 頭蓋の全景：頭蓋冠・側頭部・眼窩など (7-8) 口腔周囲の筋：浅頭筋・深頭筋 (9-10) 顎関節：顎関節の構造・下顎の運動 (11-12) 口腔：口腔前庭・固有口腔 (13-14) 唾液腺：耳下腺・顎下腺・舌下腺 (15-16) 咽頭と喉頭 			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学</p>			
<p>評価法 定期試験・レポート及び出席による総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門基礎（必須）	教科目	歯科理工学																						
授業形式	講義	単位(時間)	5単位(80時間)																						
開講時期	1年前・後期	担当	永松有紀 実務経験 無																						
九州歯科大学学生体材料学の助教であり、歯科材料学の専門的知識を活かした授業																									
<p>概要</p> <p>歯科材料および器械・器具に関する理論を学び、歯科補綴物を製作するうえで役立てる</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 各材料の機械的特性、物理的・化学的性質を理解する 2) 鑄造に関する注意点や鑄造欠陥の原因対策を理解する 3) 研磨の原理と方法を理解する <p>授業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>(1-2) 歯科理工学とは</td> <td>(43-46) 金属成形 1</td> </tr> <tr> <td>(3-6) 物質の構造</td> <td>(47-50) 金属成形 2</td> </tr> <tr> <td>(7-10) 機械的性質と試験法</td> <td>(51-54) 鑄造 1</td> </tr> <tr> <td>(11-14) 物理的・化学的・生物的性質</td> <td>(55-58) 鑄造欠陥</td> </tr> <tr> <td>(15-18) 印象材</td> <td>(57-60) 金属の加工</td> </tr> <tr> <td>(19-22) 模型材</td> <td>(61-64) 金属の接合</td> </tr> <tr> <td>(23-26) 印象材・模型材まとめ</td> <td>(65-68) 合金の熱処理</td> </tr> <tr> <td>(27-30) 高分子材料</td> <td>(69-72) その他の歯科材料</td> </tr> <tr> <td>(31-34) 歯科用レジン</td> <td>(73-76) 研磨</td> </tr> <tr> <td>(35-38) セラミック成形</td> <td>(77-80) 器械・器具</td> </tr> <tr> <td>(39-42) セラミック成形 2</td> <td></td> </tr> </table>				(1-2) 歯科理工学とは	(43-46) 金属成形 1	(3-6) 物質の構造	(47-50) 金属成形 2	(7-10) 機械的性質と試験法	(51-54) 鑄造 1	(11-14) 物理的・化学的・生物的性質	(55-58) 鑄造欠陥	(15-18) 印象材	(57-60) 金属の加工	(19-22) 模型材	(61-64) 金属の接合	(23-26) 印象材・模型材まとめ	(65-68) 合金の熱処理	(27-30) 高分子材料	(69-72) その他の歯科材料	(31-34) 歯科用レジン	(73-76) 研磨	(35-38) セラミック成形	(77-80) 器械・器具	(39-42) セラミック成形 2	
(1-2) 歯科理工学とは	(43-46) 金属成形 1																								
(3-6) 物質の構造	(47-50) 金属成形 2																								
(7-10) 機械的性質と試験法	(51-54) 鑄造 1																								
(11-14) 物理的・化学的・生物的性質	(55-58) 鑄造欠陥																								
(15-18) 印象材	(57-60) 金属の加工																								
(19-22) 模型材	(61-64) 金属の接合																								
(23-26) 印象材・模型材まとめ	(65-68) 合金の熱処理																								
(27-30) 高分子材料	(69-72) その他の歯科材料																								
(31-34) 歯科用レジン	(73-76) 研磨																								
(35-38) セラミック成形	(77-80) 器械・器具																								
(39-42) セラミック成形 2																									
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 歯科理工学</p>																									
<p>評価法 定期試験・レポートによる総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>																									

歯科技工科シラバス

分野	専門基礎（必須）	教科目	歯科理工学
授業形式	講義	単位(時間)	1単位（16時間）
開講時期	2年前・後期	担当	専任教員 実務経験 有
本校歯科技工科専任教員、歯科理工学まとめの授業			
<p>概要</p> <p>歯科材料および器械・器具に関する理論の復習 国家試験対策問題集・全国模試の解説</p> <p>到達目標</p> <p>1) 国家試験に合格できる知識を取得する</p> <p>授業内容</p> <p>(1-8) 教科書の重要ポイントを復習 (9-16) 国家試験対策問題集・全国模試の解説</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 歯科理工学 医歯薬出版 歯科技工士国家試験対策問題集</p>			
<p>評価法 定期試験・レポートによる総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	有床義歯技工学Ⅰ
授業形式	講義	単位(時間)	1単位（16時間）
開講時期	1年前期	担当	首藤謙一 実務経験 有
本校臨床実習先の歯科医院院長であり、臨床での実例も含めた全部床義歯に関する授業			
<p>概要</p> <p>全部床義歯の審査・診断・製作に関する知識・技術を学ぶ</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 有床義歯の種類・特徴・適応症を理解する 2) 全部床義歯の維持・安定・支持について理解する 3) 全部床義歯の製作手順を理解する 			
<p>授業内容 各項目2時間</p> <p>(1-2) 有床義歯技工学の意義と目的：全部床義歯・部分床義歯</p> <p>(3-4) 生体についての基礎知識：形態的・機能的・審美的基礎知識</p> <p>(5-6) 全部床義歯の特性：構成要素・義歯の維持・安定・支持</p> <p>(7-8) 印象採得に伴う歯科技工：ランドマーク・精密印象と作業用模型</p> <p>(9-10) 咬合採得に伴う歯科技工：咬合床製作・咬合器装着</p> <p>(11-12) 人工歯排列と歯肉形成：人工歯選択・配列～歯肉形成の要点</p> <p>(13-14) 埋没と重合：埋没法とレジン填入の要点</p> <p>(15-16) 削合および研磨：咬合器再装着・削合・研磨の要点</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 有床義歯技工学</p>			
<p>評価法</p> <p>前期末試験の得点と有床義歯技工学Ⅱの点数の平均点により前期有床義歯技工学の点数とする</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	有床義歯技工学Ⅱ
授業形式	講義	単位(時間)	1単位（16時間）
開講時期	1年前期	担当	山下浩平 実務経験 有
本校臨床実習先の歯科医院院長であり、臨床経験を活かした部分床義歯の授業			
<p>概要</p> <p>部分床義歯の製作に関する知識について学ぶ</p> <p>到達目標</p> <p>1) 部分床義歯の構成要素やバー・クラスプの種類を理解する</p> <p>2) 部分床義歯の製作手順を理解する</p> <p>授業内容 各項目2時間</p> <p>(1-2) 部分床義歯の特性：部分床義歯の概要</p> <p>(3-4) 残存歯、欠損状態による分類：ケネディの分類</p> <p>(5-6) 部分床義歯の製作順序：診療所と技工所における作業の関連</p> <p>(7-8) 部分床義歯の構成要素：支台装置・連結子・義歯床・人工歯</p> <p>(9-10) 印象採得に伴う技工作業：個人トレー・ボクシング</p> <p>(11-12) 咬合採得に伴う技工作業：咬合床の製作・咬合器装着</p> <p>(13-14) クラスプの製作：サベヤー・鑄造鉤・線鉤</p> <p>(15-16) バーの製作：鑄造バー・屈曲バー</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 有床義歯技工学</p>			
<p>評価法</p> <p>前期末試験の得点と有床義歯技工学Ⅰの点数の平均点により前期有床義歯技工学の点数とする</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	有床義歯技工学Ⅲ
授業形式	講義	単位(時間)	1単位（16時間）
開講時期	1年後期	担当	飯田哲也 実務経験 有
本校臨床実習先の歯科医院院長であり、臨床経験を活かした有床義歯の授業			
<p>概要</p> <p>有床義歯製作とその関連事項（修理など）を学ぶ</p> <p>到達目標</p> <p>1) 義歯の破折・破損の原因やメカニズムを理解する</p> <p>2) 義歯修理やリベースおよびリラインの手順を理解する</p> <p>授業内容 各項目2時間</p> <p>(1-2) 部分床義歯の人工歯排列・歯肉形成</p> <p>(3-4) 部分床義歯の埋没と重合</p> <p>(5-6) 部分床義歯の咬合調整と研磨</p> <p>(7-8) 修理：義歯床の修理</p> <p>(9-10) 修理：人工歯の修理</p> <p>(11-12) リベースおよびリライン</p> <p>(13-14) オーバーデンチャーの形態的分類</p> <p>(15-16) オーバーデンチャーの意義と問題点</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 有床義歯技工学</p>			
<p>評価法 定期試験・レポート及び出席による総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	有床義歯技工学Ⅳ
授業形式	講義	単位（時間）	1 単位（16時間）
開講時期	2 年前・後期	担当	専任教員 実務経験 有
本校歯科技工科専任教員であり、有床義歯製作において役立つ授業			
<p>概要</p> <p>金属床義歯の製作に関する知識を学ぶ 有床義歯技工学全般の復習</p> <p>到達目標</p> <p>1) 金属床義歯の特性・製作手順を理解する 2) 有床義歯技工学全般の要点を理解する</p> <p>授業内容 各項目2時間</p> <p>(1-2) 金属床義歯の利点と欠点 (3-4) 金属床義歯の種類 (5-6) 全部床義歯のフレームワーク (7-8) 部分床義歯のフレームワーク (9-10) フレームワーク製作に必要な技工操作 (11-12) その他の有床義歯：ノンメタルクラスプデンチャー (13-14) ジルコニアを用いた義歯 (15-16) 有床義歯技工学全般の要点復習</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 有床義歯技工学</p>			
<p>評価法 定期試験・レポートによる総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	歯冠修復技工学 I
授業形式	講義	単位（時間）	1単位（16時間）
開講時期	1年前期	担当	伊吹禎一 実務経験 有
九州大学病院口腔総合科助教であり、臨床知識を活かした歯冠修復物に関する授業			
<p>概要 各種の歯冠修復物製作に関する知識、及び技術について学ぶ</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯冠修復技工学の意義と目的を理解する 2) 歯冠修復物の種類と製作法を理解する 3) 歯周組織との関連性を理解する <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯冠修復技工学の意義と目的：機能の回復・審美性の回復 2) クラウン概要：全部被覆冠・部分被覆冠 3) クラウンの具備条件：生物学的・構造力学的・化学的・審美的要件 4) クラウンの製作：印象・トレー・支台築造・プロビジョナル 5) クラウンの製作：作業用模型・辺縁形態 6) クラウンの製作：咬合器装着 7) クラウンの製作：クラウンに与える咬合 8) クラウンの製作：ワックスアップ・埋没 9) クラウンの製作：鑄造方法・鑢付け法 10) クラウンの製作：調整・研磨手順 11) レジン前装冠：前装部形態・維持形態 12) 陶材焼付金属冠：築盛方法・コンデンス 13) 部分被覆冠の種類と特徴：インレー・3/4冠・4/5冠・ピンレッジなど 14) 全部被覆冠：全部金属冠の意義・特徴・適応用途 15) 全部被覆冠：前装冠の意義・特徴・適応用途 16) 全部被覆冠：ジャケットクラウンの意義・特徴・適応用途 			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 歯冠修復技工学</p>			
<p>評価法 定期試験・レポートによる総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	歯冠修復技工学Ⅱ
授業形式	講義	単位（時間）	1単位（16時間）
開講時期	1年後期	担当	谷口英昭 実務経験 有
本校臨床実習先の歯科医院院長であり、臨床経験を活かした歯冠修復に関する授業			
<p>概要</p> <p>ブリッジ製作に関する知識、及び技術について学ぶ</p> <p>到達目標</p> <p>1) ブリッジの構成要素・種類を理解する</p> <p>2) ポンティックの種類・連結法を理解する</p> <p>授業内容 各項目2時間</p> <p>(1-2) ブリッジの概要：ブリッジの特徴・利点・欠点</p> <p>(3-4) ブリッジの構成要素：支台装置・ポンティック・連結部</p> <p>(5-6) ブリッジの種類：固定性・半固定性・可撤性</p> <p>(7-8) ブリッジ支台装置：種類・適応用途</p> <p>(9-10) ポンティック：要件と構造</p> <p>(11-12) ポンティック：種類と形態</p> <p>(13-14) ポンティック：適応用途</p> <p>(15-16) 連結法：種類・適応用途・要件</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 歯冠修復技工学</p>			
<p>評価法 定期試験・レポートによる総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	歯冠修復技工学Ⅲ
授業形式	講義	単位(時間)	1単位（16時間）
開講時期	1年後期	担当	専任教員 実務経験 有
本校歯科技工科専任教員であり、歯冠修復物製作において役立つ授業			
<p>概要</p> <p>歯冠修復技工学に関する知識、及び技術について学ぶ</p> <p>到達目標</p> <p>1) インプラント・CAD/CAMを理解する</p> <p>2) 歯冠修復技工学全般を理解する</p> <p>授業内容 各項目2時間</p> <p>(1-2) ブリッジの製作法：臼歯部全部金属ブリッジの製作手順</p> <p>(3-4) ブリッジの製作法：前歯部陶材焼付金属ブリッジの製作手順</p> <p>(5-6) 接着ブリッジの製作法：意義・特徴・適応用途</p> <p>(7-8) インプラント：概要</p> <p>(9-10) インプラント：構成</p> <p>(11-12) インプラント：上部構造製作</p> <p>(13-14) CAD/CAM: システムの構成</p> <p>(15-16) まとめ</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 歯冠修復技工学</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士国家試験対策問題集</p>			
<p>評価法 定期試験・レポートによる総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	歯冠修復技工学Ⅳ
授業形式	講義	単位(時間)	1単位（16時間）
開講時期	2年前期	担当	専任教員 実務経験 有
本校歯科技工科専任教員であり、1年次の復習及び小テストにより理解度を確保する授業			
<p>概要</p> <p>歯冠修復技工学に関する知識の再確認</p> <p>到達目標</p> <p>1) 歯冠修復技工学の各項目における重要点を確保させる</p> <p>授業内容</p> <p>1) クラウンの概要、分類</p> <p>2) 小テスト、解答・解説</p> <p>3) 印象材、支台築造、プロビジョナルレストレーション</p> <p>4) 小テスト、解答・解説</p> <p>5) 作業用模型、咬合器</p> <p>6) 小テスト、解答・解説</p> <p>7) 咬合関係、ワックスアップ法</p> <p>8) 小テスト、解答・解説</p> <p>9) 埋没、鋳造、研磨</p> <p>10) 小テスト、解答・解説</p> <p>11) 部分被覆冠の特徴</p> <p>12) 小テスト、解答・解説</p> <p>13) 全部被覆冠の特徴</p> <p>14) 小テスト、解答・解説</p> <p>15) ブリッジの概要、インプラント</p> <p>16) 小テスト、解答・解説</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 歯冠修復技工学</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士国家試験対策問題集</p>			
<p>評価法 定期試験・レポートによる総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	小児歯科技工学
授業形式	講義	単位（時間）	1 単位（16時間）
開講時期	1 年後期	担当	専任教員 実務経験 有
本校歯科技工科専任教員であり、小児歯科に関する装置作成に役立つ授業			
<p>概要</p> <p>歯、顎、顔面及び全身の成長発育に関することや乳歯歯冠修復物及び咬合誘導装置等の製作技術を学ぶ</p> <p>到達目標</p> <p>1) 小児歯科治療の特色・目的を理解する</p> <p>2) 小児の歯冠修復・咬合誘導装置などの種類や製作法を理解する</p> <p>授業内容 各項目2時間</p> <p>(1-2) 小児歯科技工概説：乳歯列期・混合歯列期</p> <p>(3-4) 歯・顎・顔面の成長発育：成長発育と年齢・ホルモンの歯齢</p> <p>(5-6) 小児の歯冠修復：特徴・種類</p> <p>(7-8) 咬合誘導装置：種類・特徴・製作法</p> <p>(9-10) 保隙装置：種類・特徴・製作法</p> <p>(11-12) スペースリテーナー：種類・特徴・製作法</p> <p>(13-14) 口腔習癖除去装置：吸指癖除去装置・舌癖除去装置</p> <p>(15-16) 咬合誘導装置の維持装置：アダムスクラasp・シュワルツクラasp</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 小児歯科技工学</p>			
<p>評価法 定期試験・レポートによる総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	矯正歯科技工学
授業形式	講義	単位（時間）	1単位（16時間）
開講時期	1年後期	担当	城下 功 実務経験 有
本校臨床実習先の歯科医院院長であり、臨床経験を活かした歯科矯正に関する授業			
<p>概要</p> <p>矯正歯科の概要と正常咬合と不正咬合の違いや矯正装置・保定装置の製作に関する知識を学ぶ</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 矯正歯科技工学の意義と目的を理解する 2) 矯正装置の種類と製作法を理解する 3) 保定装置の種類と製作法を理解する <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 矯正歯科技工学の意義と目的 2) 正常咬合と不正咬合・矯正治療の進め方 3) 矯正歯科技工の手技：矯正用線の屈曲 4) 自在鑑着 5) 矯正用口腔模型の製作 6) 平行模型・顎態模型 7) 矯正装置の必要条件 8) 矯正装置の分類 9) 矯正装置の製作法：舌側弧線装置 10) 矯正装置の製作法：アクチバートルなど 11) 矯正装置の製作法：拡大装置 12) 矯正装置の製作法：マルチブラケット装置 13) 保定装置の製作法：ホーレーの保定装置 14) 保定装置の製作法：アップアラウンドリテーナー 15) 保定装置の製作法：トゥースポジショナー 16) 保定装置の製作法：スプリングリテーナー 			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 矯正歯科技工学</p>			
<p>評価法 定期試験・レポート及び出席による総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	基礎（必須）	教科目	情報リテラシー
授業形式	講義・演習	単位(時間)	1単位(16時間)
開講時期	2年後期	担当	實本真理子 実務経験 無
<p>本学短期大学の講師であり、パソコンに熟知した知識を活かした授業</p>			
<p>概要 パーソナルコンピューターなど情報処理について学ぶ</p> <p>到達目標 パーソナルコンピューターの基本的な操作を習得する</p> <p>授業内容 各項目2時間 (1-2) コンピューターの構成 (3-4) 歯科医療におけるデジタル化 (5-6) 歯科技工におけるデジタル化 (7-8) ソフトウェア使用上のルール・マナー・セキュリティ (9-10) ワードプロソフト・表計算ソフト (11-12) プレゼンテーションソフト (13-14) インターネットブラウザによる検索 (15-16) ソーシャルネットワークサービス</p>			
<p>使用教材 医歯薬出版 歯科技工士教本 歯科技工管理学</p>			
<p>評価法 履修確認試験・レポートによる総合評価 「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	基礎（必須）	教科目	コミュニケーション学
授業形式	講義	単位(時間)	1単位（16時間）
開講時期	2年前期	担当	根岸由紀江 実務経験 無
(株)ユー・ジュエル代表で、経験を活かしたマナーやコミュニケーションに関する授業			
<p>概要</p> <p>社会人として、また医療人として良好なコミュニケーションを学ぶ</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 正しい言葉遣いで会話できる 2) 伝える力を養う 3) 報告・連絡・相談の仕方を身につける <p>授業内容 各項目2時間</p> <p>(1-2) コミュニケーションとは：5原則</p> <p>(3-4) 聴く力：会話のキャッチボール</p> <p>(5-6) 伝える力：声の出し方・言葉遣い</p> <p>(7-8) アサーション：自己表現</p> <p>(9-10) 伝え方：PREP法・DESC法</p> <p>(11-12) 報告・連絡・相談</p> <p>(13-14) 感情をコントロールしよう：アンガーマネジメント</p> <p>(15-16) 自律型人材になろう</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 歯科技工管理学</p>			
<p>評価法 履修確認試験・レポートによる総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	基礎（必須）	教科目	情報リテラシー
授業形式	実習	単位(時間)	1単位(32時間)
開講時期	2年前・後期	担当	専任教員 実務経験 有
本校歯科技工科専任教員で、CAD/CAMの知識と扱い方をマンツーマンで指導する			
<p>概要</p> <p>CAD/CAMについての知識とCADの扱い方を学び、実践的な力を身につける</p> <p>到達目標</p> <p>1) CAD/CAMの概要を理解し、CADの操作を身につける</p> <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) キャリブレーション：起動の仕方 2) 注文フォーム：製作する歯を選択 3) 加工する材料を選択 4) 歯列をスキャン 5) 対合歯をスキャン 6) 上下顎咬合状態をスキャン 7) 支台歯をスキャン 8) マージンラインの設定 9) 解剖学的形態設計 10) 隣在歯との調整 11) 対合歯との位置関係の調整 12) 側方運動の調整 <p>以上の操作を理解し、各自が繰り返し操作することで実力をつける</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工管理学</p> <p>配布資料</p>			
<p>評価法 演習実績による評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門基礎（必須）	教科目	歯の解剖学 I
授業形式	実習	単位(時間)	3 単位 (96時間)
開講時期	1 年前期・後期	担当	専任教員 実務経験 有
本校歯科技工科専任教員で、経験を活かした歯形彫刻の指導			
<p>概要</p> <p>歯の解剖学的形態に対する知識を養うと共に、歯形彫刻の手順を習得し、歯の持つ諸形態を再現する技術を養う</p> <p>到達目標</p> <p>上下顎各歯牙の形態を理解し、歯形彫刻により造形力を養う</p> <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) それぞれの歯の形態・特徴を説明 2) デッサンにより歯の外形をとらえる 3) 石膏棒を唇、頬側面・舌側面・近遠心面ごとにステップで削る 4) 見本と見比べながら最終的な形態に近づける 5) 上顎中切歯 6) 下顎第一大臼歯 7) 上顎第一大臼歯 8) 上顎犬歯 9) 上顎第一小臼歯 10) 下顎第一小臼歯 11) 下顎第二小臼歯 12) 上顎第二小臼歯 13) 下顎第二大臼歯 14) 上顎第二大臼歯 15) 上顎側切歯 			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学 歯牙スタンダード模型・歯形彫刻用見本模型・デッサン見本資料</p>			
<p>評価法 定期試験・課題提出による総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門基礎（必須）	教科目	歯の解剖学Ⅱ
授業形式	実習	単位(時間)	1単位（32時間）
開講時期	2年前期・後期	担当	専任教員 実務経験 有
本校歯科技工科専任教員で、歯形彫刻の技術を更に高めるよう指導する			
<p>概要</p> <p>天然歯の微細な性状の再現や、天然歯列の形態学的再現技術の習得手技の向上による作業時間の短縮</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯の形態を覚えることにより、見本を見ずに彫刻ができる 2) 修練により時間短縮を目指す 3) 天然歯見本を観察し、近づけるよう彫刻する <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯のデッサンにより特徴をつかみ形態をイメージできるよう練習 2) 指定時間内に彫刻が完了するように繰り返しの練習 3) 教員の添削により注意点を確認し修正する 4) 天然歯形態模型に近づけるよう彫刻し、観察力と造形力を高める 			
<p>使用教材</p> <p>デッサン資料・彫刻見本模型</p>			
<p>評価法 定期試験・課題提出による総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	有床義歯技工学Ⅰ																				
授業形式	実習	単位（時間）	6単位（192時間）																				
開講時期	1年前・後期	担当	専任教員 実務経験 有																				
本校歯科技工科専任教員で、有床義歯に関する知識と実技を指導する																							
<p>概要</p> <p>全部床義歯・部分床義歯の概要・製作方法を学ぶ</p> <p>到達目標</p> <p>1) 全部床義歯の製作手順を習得すると共に歯の排列状態を理解する</p> <p>2) 部分床義歯の製作により欠損補綴の概要を理解し、維持装置に関する知識、製作法を習得する</p> <p>授業内容</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1) 全部床義歯の概要</td> <td style="width: 50%;">1 1) 部分床義歯の概要</td> </tr> <tr> <td>2) 個人トレーの製作</td> <td>1 2) サベヤーにより着脱方向・サベイライン</td> </tr> <tr> <td>3) 咬合床製作</td> <td>1 3) ブロックアウト・リリース</td> </tr> <tr> <td>4) 咬合器装着</td> <td>1 4) 咬合器装着</td> </tr> <tr> <td>5) 人工歯排列</td> <td>1 5) クラスプ・バーのワックスアップ</td> </tr> <tr> <td>6) 歯肉形成</td> <td>1 6) クラスプ・バーの埋没・鑄造・研磨</td> </tr> <tr> <td>7) 埋没～重合</td> <td>1 7) 人工歯排列・歯肉形成</td> </tr> <tr> <td>8) 咬合器再装着</td> <td>1 8) 埋没～重合</td> </tr> <tr> <td>9) 削合</td> <td>1 9) 咬合調整</td> </tr> <tr> <td>1 0) 研磨～完成</td> <td>2 0) 研磨～完成</td> </tr> </table> <p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 有床義歯技工学 実習要項、資料等配布</p> <p>評価法 定期試験・課題提出による総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>				1) 全部床義歯の概要	1 1) 部分床義歯の概要	2) 個人トレーの製作	1 2) サベヤーにより着脱方向・サベイライン	3) 咬合床製作	1 3) ブロックアウト・リリース	4) 咬合器装着	1 4) 咬合器装着	5) 人工歯排列	1 5) クラスプ・バーのワックスアップ	6) 歯肉形成	1 6) クラスプ・バーの埋没・鑄造・研磨	7) 埋没～重合	1 7) 人工歯排列・歯肉形成	8) 咬合器再装着	1 8) 埋没～重合	9) 削合	1 9) 咬合調整	1 0) 研磨～完成	2 0) 研磨～完成
1) 全部床義歯の概要	1 1) 部分床義歯の概要																						
2) 個人トレーの製作	1 2) サベヤーにより着脱方向・サベイライン																						
3) 咬合床製作	1 3) ブロックアウト・リリース																						
4) 咬合器装着	1 4) 咬合器装着																						
5) 人工歯排列	1 5) クラスプ・バーのワックスアップ																						
6) 歯肉形成	1 6) クラスプ・バーの埋没・鑄造・研磨																						
7) 埋没～重合	1 7) 人工歯排列・歯肉形成																						
8) 咬合器再装着	1 8) 埋没～重合																						
9) 削合	1 9) 咬合調整																						
1 0) 研磨～完成	2 0) 研磨～完成																						

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	有床義歯技工学Ⅱ
授業形式	実習	単位(時間)	2単位(64時間)
開講時期	2年前・後期	担当	専任教員 実務経験 有
本校歯科技工科専任教員で、有床義歯に関する専門的実習を指導する			
<p>概要</p> <p>金属床義歯の製作・部分床義歯の維持装置製作</p> <p>到達目標</p> <p>1) 金属床義歯の特徴・製作手順を理解する</p> <p>2) 部分床義歯の維持装置の種類・製作法を理解する</p> <p>授業内容</p> <p>1) 金属床義歯の概要・特徴</p> <p>2) サベヤーにより着脱方向・サベイライン記入</p> <p>3) ブロックアウト・リリース</p> <p>4) 耐火模型製作</p> <p>5) ワックスアップ</p> <p>6) 埋没～鑄造</p> <p>7) 電解研磨</p> <p>8) 最終研磨</p> <p>9) 部分床義歯の維持装置製作法</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 有床義歯技工学</p> <p>実習要項、資料等配布</p>			
<p>評価法 定期試験・課題提出による総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	歯冠修復技工学Ⅰ																		
授業形式	実習	単位(時間)	6単位（192時間）																		
開講時期	1年前・後期	担当	専任教員 実務経験 有																		
本校歯科技工科専任教員で、歯冠修復物の基礎的な知識と技術を指導する																					
<p>概要</p> <p>歯冠修復物の種類と製作法を学ぶ</p> <p>到達目標</p> <p>1) 歯冠修復物の製作手順の習得と基礎的手技の習得</p> <p>2) ブリッジの製作手順と架工歯の基礎知識の習得</p> <p>3) 歯列と修復物の調和に関する知識、技術の習得</p> <p>授業内容</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1) 全部金属冠模型製作</td> <td style="width: 50%;">9) 下顎ブリッジ模型製作</td> </tr> <tr> <td>2) ワックスアップ</td> <td>10) ワックスアップ</td> </tr> <tr> <td>3) 埋没～鑄造</td> <td>11) 埋没～鑄造</td> </tr> <tr> <td>4) 研磨</td> <td>12) 研磨～ポンティックレジン前装</td> </tr> <tr> <td>5) インレー・コア模型製作</td> <td>13) レジン前装冠模型製作</td> </tr> <tr> <td>6) ワックスアップ</td> <td>14) ワックスアップ～窓開け</td> </tr> <tr> <td>7) 埋没～鑄造</td> <td>15) 埋没～鑄造・メタル調整</td> </tr> <tr> <td>8) 研磨</td> <td>16) レジン築盛～重合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17) 形態修正～研磨</td> </tr> </table>				1) 全部金属冠模型製作	9) 下顎ブリッジ模型製作	2) ワックスアップ	10) ワックスアップ	3) 埋没～鑄造	11) 埋没～鑄造	4) 研磨	12) 研磨～ポンティックレジン前装	5) インレー・コア模型製作	13) レジン前装冠模型製作	6) ワックスアップ	14) ワックスアップ～窓開け	7) 埋没～鑄造	15) 埋没～鑄造・メタル調整	8) 研磨	16) レジン築盛～重合		17) 形態修正～研磨
1) 全部金属冠模型製作	9) 下顎ブリッジ模型製作																				
2) ワックスアップ	10) ワックスアップ																				
3) 埋没～鑄造	11) 埋没～鑄造																				
4) 研磨	12) 研磨～ポンティックレジン前装																				
5) インレー・コア模型製作	13) レジン前装冠模型製作																				
6) ワックスアップ	14) ワックスアップ～窓開け																				
7) 埋没～鑄造	15) 埋没～鑄造・メタル調整																				
8) 研磨	16) レジン築盛～重合																				
	17) 形態修正～研磨																				
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 歯冠修復技工学 実習要項、資料等配布</p>																					
<p>評価法 定期試験・課題提出による総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>																					

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	歯冠修復技工学Ⅱ																				
授業形式	実習	単位（時間）	3単位（96時間）																				
開講時期	2年前・後期	担当	専任教員 実務経験 有																				
本校歯科技工科専任教員で、歯冠修復物の専門的な知識と実技を指導する																							
<p>概要</p> <p>審美的修復（前装冠）に関する基礎知識と製作法の習得</p> <p>到達目標</p> <p>1）レジン前装冠ブリッジによる審美的欠損補綴の基本技術の習得</p> <p>2）陶材焼付金属冠製作による審美修復技術の習得</p> <p>授業内容</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1）レジン前装冠ブリッジ模型製作</td> <td style="width: 50%;">1 1）陶材焼付前歯ブリッジ模型製作</td> </tr> <tr> <td>2）ワックスアップ～窓開け</td> <td>1 2）ワックスアップ～窓開け</td> </tr> <tr> <td>3）埋没～鑄造・メタル調整</td> <td>1 3）埋没～鑄造・メタル調整</td> </tr> <tr> <td>4）レジン築盛～重合</td> <td>1 4）陶材築盛～焼成</td> </tr> <tr> <td>5）形態修正～研磨</td> <td>1 5）形態修正～完成</td> </tr> <tr> <td>6）陶材焼付金属冠臼歯模型製作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7）ワックスアップ～窓開け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8）埋没～鑄造・メタル調整</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9）陶材築盛～焼成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 0）形態修正～完成</td> <td></td> </tr> </table>				1）レジン前装冠ブリッジ模型製作	1 1）陶材焼付前歯ブリッジ模型製作	2）ワックスアップ～窓開け	1 2）ワックスアップ～窓開け	3）埋没～鑄造・メタル調整	1 3）埋没～鑄造・メタル調整	4）レジン築盛～重合	1 4）陶材築盛～焼成	5）形態修正～研磨	1 5）形態修正～完成	6）陶材焼付金属冠臼歯模型製作		7）ワックスアップ～窓開け		8）埋没～鑄造・メタル調整		9）陶材築盛～焼成		1 0）形態修正～完成	
1）レジン前装冠ブリッジ模型製作	1 1）陶材焼付前歯ブリッジ模型製作																						
2）ワックスアップ～窓開け	1 2）ワックスアップ～窓開け																						
3）埋没～鑄造・メタル調整	1 3）埋没～鑄造・メタル調整																						
4）レジン築盛～重合	1 4）陶材築盛～焼成																						
5）形態修正～研磨	1 5）形態修正～完成																						
6）陶材焼付金属冠臼歯模型製作																							
7）ワックスアップ～窓開け																							
8）埋没～鑄造・メタル調整																							
9）陶材築盛～焼成																							
1 0）形態修正～完成																							
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 歯冠修復技工学 実習要項、資料等配布</p>																							
<p>評価法 定期試験・課題提出による総合評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>																							

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	小児歯科技工学												
授業形式	実習	単位（時間）	1 単位（32時間）												
開講時期	2 年前・後期	担当	専任教員 実務経験 有												
本校歯科技工科専任教員で、小児歯科の基礎知識と装置製作の指導															
<p>概要</p> <p>小児歯科技工の目的を理解し、咬合誘導に伴う装置の製作法を学ぶ</p> <p>到達目標</p> <p>1) 小児歯科に関する基礎知識を理解する</p> <p>2) 各装置製作手順の習得と基礎的手技の習得</p> <p>授業内容</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1) クラウンループ保隙装置</td> <td style="width: 50%;">6) アダムスのスプリングを応用</td> </tr> <tr> <td>2) 乳歯の適合</td> <td>7) 模型製作</td> </tr> <tr> <td>3) 複模型作成</td> <td>8) アダムスクラスプ屈曲</td> </tr> <tr> <td>4) ループの屈曲</td> <td>9) 単純鉤屈曲</td> </tr> <tr> <td>5) 鑑着～研磨</td> <td>10) アダムススプリング製作</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11) レジン床製作～研磨</td> </tr> </table>				1) クラウンループ保隙装置	6) アダムスのスプリングを応用	2) 乳歯の適合	7) 模型製作	3) 複模型作成	8) アダムスクラスプ屈曲	4) ループの屈曲	9) 単純鉤屈曲	5) 鑑着～研磨	10) アダムススプリング製作		11) レジン床製作～研磨
1) クラウンループ保隙装置	6) アダムスのスプリングを応用														
2) 乳歯の適合	7) 模型製作														
3) 複模型作成	8) アダムスクラスプ屈曲														
4) ループの屈曲	9) 単純鉤屈曲														
5) 鑑着～研磨	10) アダムススプリング製作														
	11) レジン床製作～研磨														
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 小児歯科技工学</p>															
<p>評価法 課題提出による評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>															

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	矯正歯科技工学
授業形式	実習	単位(時間)	1単位(32時間)
開講時期	2年前・後期	担当	専任教員 実務経験 有
本校歯科技工科専任教員で、矯正装置の基礎知識と製作法を指導する			
<p>概要</p> <p>歯科矯正の目的を理解し、矯正装置・保定装置の製作法を学ぶ</p> <p>到達目標</p> <p>1) 矯正歯科に関する基礎知識を理解する</p> <p>2) 各装置製作手順の習得と基礎的手技の習得</p> <p>授業内容</p> <p>1) 舌側弧線装置の製作 8) ホーレー保定装置 14) 拡大装置製作</p> <p>2) バンドの適合 9) 唇側線屈曲 15) 維持装置</p> <p>3) 印象～模型製作 10) アダムスクラスプ 16) 拡大ネジ装着</p> <p>4) STロック鑑着 11) 単純鉤屈曲 17) レジン床製作</p> <p>5) 主線屈曲 12) レジン築盛</p> <p>6) 補助弾線鑑着 13) 研磨</p> <p>7) 補助弾線屈曲</p>			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 矯正歯科技工学</p>			
<p>評価法 課題提出による評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門基礎（必須）	教科目	歯科理工学
授業形式	演習（実験）	単位（時間）	1単位（32時間）
開講時期	2年前・後期	担当	専任教員 実務経験 有
本校歯科技工科専任教員で、歯科材料について実験検証の指導			
<p>概要</p> <p>理工学材料の特性についての検証により材料の性質を学ぶ</p> <p>到達目標</p> <p>石膏、埋没材、ワックス、レジン等歯科材料の基本的性質を把握し、実験により考察する</p> <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 埋没材の混水比の大小による鑄造後の適合性の検証 2) スプルー植立の位置・太さ・長さによる鑄造性の検証 3) 石膏の硬化時間・膨張・圧縮強さの検証 4) 印象材の変形についての検証 5) 学生各自の考察による実地検証 			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科理工学</p>			
<p>評価法 課題提出による評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	専門（必須）	教科目	歯科技工実習
授業形式	実習・演習	単位(時間)	1 1 単位 (352時間)
開講時期	1・2年前・後期	担当	専任教員 実務経験 有
本校歯科技工科専任教員で、歯科技工実習の反復練習の添削指導			
<p>概要</p> <p>基礎実習・国家試験対策実習の反復練習</p> <p>到達目標</p> <p>繰り返しの練習・添削により時間短縮と完成度の向上を目指す</p> <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯形彫刻 2) 歯のデッサン（外形描記） 3) 矯正線の屈曲 4) 全部金属冠ワックスアップ 5) 全部床義歯排列～歯肉形成 6) 臨床応用実習 			
<p>使用教材</p> <p>実習要項、資料等配布</p>			
<p>評価法 課題提出による評価</p> <p>「成績評価の基準」として学生便覧の単位認定規程第5条の2に記載</p>			

歯科技工科シラバス

分野	選択必修	教科目	国家試験対策
授業形式	講義	単位(時間)	3単位(48時間)
開講時期	2年前・後期	担当	各担当専任教員 実務経験 有
本校歯科技工科専任教員で、国家試験教科を分担で担当して講義と問題作成			
<p>概要</p> <p>国家試験学科8教科について講義・模擬試験などで実力をつける</p> <p>到達目標</p> <p>国家試験合格ライン以上の得点が取れること</p> <p>授業内容</p> <p>国家試験科目8教科それぞれの担当教員により、講義・国試対策問題集の解説 小テスト・校内模試などで得点の向上を図る</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯科理工学 2) 歯の解剖学 3) 顎口腔機能学 4) 有床義歯技工学 5) 歯冠修復技工学 6) 矯正歯科技工学 7) 小児歯科技工学 8) 関係法規・技工管理学 			
<p>使用教材</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士教本 各教科</p> <p>医歯薬出版 歯科技工士試験問題・解答集</p> <p>資料等配布</p> <p>評価法</p>			
定期試験・模擬試験による総合評価			

歯科技工科シラバス

分野	選択必修	教科目	総合歯科実習
授業形式	実習	単位(時間)	3単位(96時間)
開講時期	2年前・後期	担当	メーカー・県内ラボ・専任教員
<p>インターンシップでは、本校連携の県内ラボにて体験実習を行う 相互実習は、本校歯科衛生科と歯科技工科でグループによる実習体験と考察指導</p>			
<p>概要 インターンシップ・相互実習・メーカーセミナーなど</p> <p>到達目標 臨床現場で役立つ知識と技術を身につける</p> <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 県内のラボにおいてインターンシップを実施 2) 歯科衛生科との相互実習でチームアプローチの体験を行う 3) メーカーセミナー（フェイスボウトランスファーなど） 4) 臨床応用実習 			
<p>使用教材 実習要項、資料等配布</p>			
<p>評価法 現場評価・レポート及び出席による総合評価</p>			

歯科技工科シラバス

歯科技工科シラバス

歯科技工科シラバス

歯科技工科シラバス

歯科技工科シラバス

歯科技工科シラバス

歯科技工科シラバス

歯科技工科シラバス

歯科技工科シラバス

歯科技工科シラバス

歯科技工科シラバス

歯科技工科シラバス

歯科技工科シラバス

歯科技工科シラバス

歯科技工科シラバス